

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art
News 展覧会・イベントスケジュール

No.105

2024

7 July ▶ 9 September



穴山勝堂《踏切を通過する》

コレクション企画展

-没後100年- **富岡鉄斎**
鉄斎と文人書画の優品

2024(令和6年)7月20日(土)～8月25日(日)

本年は、“最後の文人”と称される富岡鉄斎が、大正13(1924)年に没して100年にあたります。鉄斎は、山梨の豪商「十一屋」野口家と深く親交し、明治8(1875)年には、甲府柳町の野口邸を拠点に生涯で唯一の富士登山を行いました。鉄斎は、登頂から間もない時期に当主、正忠(号、柿邨)のために《富士山巔麓略図》を描き、これは鉄斎の富士山画の中でも初期の代表作とされています。その他にも、数多くの作品を野口家のために描いた作品は、現在、当館に野口コレクションとして寄贈、または寄託されています。

一方、野口家は、文人画(南画)家の作品を収集し、現在も数多く伝えられています。与謝蕪村、谷文晁、椿椿山ら大家の作品をはじめ、正忠がパトロンとして交流した日根対山、対山とネットワークがあった岡田米山人と子の半江、貫名海屋、中西耕石ら、そして野口家へ嫁ぎ、後に近代を代表する南画家となった野口小蘋など、江戸後期から近代にいたる文人画(南画)を概観することができます。さらに同コレクションには、野口家と交流のあった文人たちの書の優品も伝わっています。

本展では、これら野口コレクションにあわせて当館の収蔵する山梨ゆかりの近代南画を紹介することで、富岡鉄斎をはじめとする文人の世界を堪能していただけます。

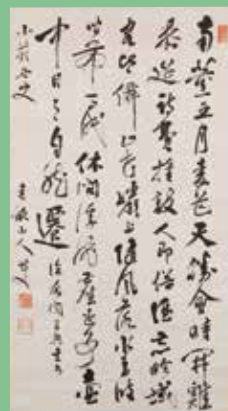
※コレクション展観覧料でご覧いただけます。



富岡鉄斎《富士山巔麓略図》1875(明治8)年
紙本墨画淡彩



野口小蘋《甲州御嶽図》
1893(明治26)年
絹本着色



伊藤博文《七律詩》
明治時代
紙本墨書

大正・昭和前期に華ひらいた山梨美術

山梨モダン 1912~1945

9月14日(土)~11月4日(月・振休)

大正期、日本では自由や個性尊重を求めるデモクラシーの空気や海外からの情報流通を背景に、芸術家たちが新しい芸術を求めて様々な表現を生み出しました。そのような時代の雰囲気や条件は山梨においても多くの芽を育み、活発な創作活動につながりました。この時期、山梨の洋画壇は成熟を始め、草土社や春陽会に参加した土屋義郎、二科会に参加した埴原久和代、渡仏した石原長光、シュルレアリスムの表現を追究した米倉壽仁といった山梨出身の洋画家が輩出しました。また日本画では、近代水墨画の表



望月春江 《明るきかぐのこの実》
1929年 当館蔵



辻葦夫 《青い門》 1936年 当館蔵



埴原久和代 《赤い本》 1927年 当館蔵

現を確立した近藤浩一路をはじめ、望月春江、古屋正寿、大河内夜江といった山梨出身の若き日本画家たちが昭和初期を中心に東京と山梨で活躍します。

このほかにも、写真や工芸など様々なジャンルで多彩な展開が見られました。本展では、こ



米倉壽仁 《モニュメント》
1937年 当館蔵

うした大正期~終戦(1912~1945年)までの山梨ゆかりの芸術家たちの活動や当時の山梨の芸術的雰囲気を「山梨モダン」と呼び、関連する作品や資料を紹介します。

夏季	ミレー館	2024年6月4日(火)～9月16日(月・祝)	
	テーマ展示室	2024年6月11日(火)～9月23日(月・祝)	※一部は9月16日まで
	萩原英雄記念室	2024年6月4日(火)～9月16日(月・祝)	

ミレー館 (コレクション展A)

画面いっぱいに背の高い木々が描かれています。背景には明るい夏の青空と白い雲が広がる一方、草が生い茂る地面には木々の影が落ちて、明暗のコントラストが生まれています。よく見ると、草地には牛たちがぐつろいでいます。手前の2頭の牛は日陰の涼しい場所を選んだのでしょうか。木々と牛の大きさを比較すると、樹木の高さやこの土地の広さを感じられます。

ジュール・デュブレ (1811～1889) はイギリス風景画から影響を受けた作品を多数描きました。バルビゾンや旅行先では友人のテオドール・ルソーとともに制作し、本作にはルソーの影響も見られます。



ジュール・デュブレ《森の中-夏の朝》1840年頃

テーマ展示室 (コレクション展B)

みつけて かんじて

作品の中に、作者が表現したいこと、伝えようとしたことを、モチーフやキーワードを手がかりに探して感じようとする展示。トカゲや魚、食器や花瓶などのモチーフの選び方、夜明け前や月夜の光の描き方、色と形の構成などから、作家の視線や想い、メッセージが見えてきます。作品を通して作者それぞれのアイデアや表現、技法を探ったり、同じテーマや素材でも、制作時期や作者によって表現が異なることに気づいたり、「見つけて 感じて」、作品に向き合う楽しさを分かち合おうとする試みです。

Pick up ART

穴山勝堂《踏切を通過する》1957(昭和32)年 絹本着色 75.5×145.3cm

最初に目に入ってくるのは、煙草を持つ右手とお茶の土瓶、窓枠。そして赤い傘と水色の車。ひしめきあう傘のシルエットが、踏切で汽車の通過を待つ群衆であることに気づく。踏切を通過する瞬間を汽車の中からの眺めとして描いているのだ。

手前の人々の形は線状に流れ、スピード感や遠近感が伝わってくる。雨足が強いのか人の姿は雨に烟り、押し開けられた窓から入ってくる雨のにおいや湿気さえ感じられるようだ。

穴山勝堂は、東京美術学校で黒田清輝に洋画を学んだ後、松岡映丘に大和絵の色彩や描法を学び、大和絵の近代化を目指した。戦後は日本画で光や動勢を表現しようと試み、「特急車」「疾走する貨物車」など特に中央線の乗車経験に基づいた作品を手がけている。見るものに迫体験を促し、様々な感覚や記憶を呼び起こさせる本作には、勝堂の新鮮な創意がよく現れている。

「アートでトーク」英語版! “Dialogues with Art” English version!

案内役と一緒に展示作品を見て、英語で対話をする鑑賞会です。日本在住または滞在している外国人の方、英語を学んでいる方、英語で作品について語りたい方など、どなたでも参加可能です。

日時／8月24日(土) 午後2:00～2:40

対象／どなたでも 定員／5名程度

集合場所／本館2階ロビー

※参加無料ですがコレクション展のチケットが必要です。

要事前申込。

申込方法／メールでお申し込みください。

メール: bijutsukan@pref.yamanashi.lg.jp

(日本語あるいは英語)

申込期間／7月24日(水)～8月11日(日)

申込多数の場合、抽選となります。

Join us for a dialogue-based art appreciation session in English! Everyone is welcome.

Time and Date/Saturday, August 24th 2:00-2:40PM.

Capacity/ approx. 5 persons

Meeting place/ Main building 2F lobby

Make reservations by e-mail

(bijutsukan@pref.yamanashi.lg.jp, Japanese or English)

from Wednesday, July 24th to Sunday, August 11th.

Participants will be decided by lot.

Participation fee is free, however exhibition ticket is necessary for entry into galleries.

美術体験・実技講座 はじめてのシルクスクリーン

シルクスクリーンの技法に触れる初心者のための講座です。この講座受講者で「シルクスクリーン」講座へ進む方はこの日にお申し込みください。

講師／天野純治氏(作家)

日時／8月25日(日) 午前10:00～午後3:30

定員／20名程度 材料費／約1,000円

場所／工房

申込期間／8月1日(木)～7日(水)

シルクスクリーン講座(全4回)

シルクスクリーンの技法を深く制作します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。初心者は「はじめてのシルクスクリーン」を受講してください。

講師／天野純治氏(作家)

日時／9月8日(日)、15日(日)、22日(日)、23日(月・祝)

午前10:00～午後4:00

※説明会と材料申込一括注文を8月25日(日)

午後4:00から行います。

定員／20名程度 場所／工房

申込期間／8月1日(木)～7日(水)

※9月10日(火)～21日(土)は工房で自主制作可

オープンアトリエ①

シルクスクリーンをさらに深めたい方や版画制作経験者に制作の場所を提供します。

期間／9月25日(水)～10月8日(火)

時間／午前9:00～午後4:30

申込期間／9月10日(火)～16日(月・祝)

注意事項／講師による指導はありません。一度に工房を使用できる人数は20名です。10月5日(土)使用不可。

美術体験・実技講座の申込方法

対象は中学生～大人。初めて講座を受ける方・初心者が優先ですが、オープンアトリエはご自身で制作可能な方が対象です。申込者多数の場合は、抽選させていただきます。

●申込方法 往復はぎでお申し込みください。

往復面に①講座名②〒住所③氏名・年齢(学生の方は学校名と学年)

④電話番号(Fax番号)⑤経験の有無を、返信面には〒・住所・氏名を必ず記入してください。

●申込先 〒400-0065甲府市貢川1-4-27

山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係

※受講料は無料ですが材料費がかかります。必要な用具・材料は申込者に後日連絡いたします。

ミュージアム・シアター

美術館では毎月芸術や展覧会に関する映画を上映しています。

・7月20日(土)

「ゲルハルト・リヒター・ペインティング」(2011年、101分)

現代の美術において重要な位置を占める芸術家のゲルハルト・リヒターの制作を追ったドキュメンタリー映画。(音声:ドイツ語、英語/字幕:日本語)

・8月10日(土)

「ランブル 音楽界を揺るがしたインディアンたち」

(2017年、102分)

ミュージシャンのリンク・レイが1958年に発表した曲「ランブル」を出発点に、失われた歴史を辿るドキュメンタリー映画。(音声:英語/字幕:日本語)

・9月28日(土)

「ファン・ゴッホと日本ー国立ゴッホ美術館ー」

(2019年、87分)

浮世絵などをとおして、日本に大きな憧れを抱いたゴッホの芸術を、専門家などの考察を交えながら追ったドキュメンタリー映画。(音声:英語/字幕:日本語)

時間／午後1:30～

定員／各回先着80名、申込不要(午後1:00より会場にて整理券配布)

場所／講堂

※鑑賞無料。プログラムは変更になる場合があります。

美術館ロビーコンサート

日時／第3日曜日 午後2:00～(約30分)

演奏／県内音楽家の皆さんによるアンサンブル

場所／本館1Fロビー(申込不要、入場無料)

※開催の有無、スケジュールは当館ホームページをご確認ください。

7July → 9September ※各主催者の判断等により、中止になる場合があります。ご来館前に直接主催者にお問い合わせください。

展覧会名	会期	会場	問い合わせ先
第86回 山梨美術協会展(公募)	7/ 4(土)～7/12(金)	A・B・C	artkoba2000@yahoo.co.jp
女流画家協会 山梨展	7/13(土)～7/19(金)	A・B・C	flappiano1960@yahoo.co.jp
第36回 アトリエ・ボシェット作品展 特別参加ひかりの家学園	7/20(土)～7/26(金)	A・B	
グループWOW	7/27(土)～8/ 2(金)	A	benjpben@yahoo.co.jp
第46回 PHOTO CLUB RETURN 写真展	7/27(土)～8/ 2(金)	B	055-273-0533
第50回 UTY教育美術展	8/ 3(土)～8/ 9(金)	A・B・C	055-232-1112
第66回 青樹展	8/10(土)～8/15(金)	A・B	
夢・色・形展	8/16(土)～8/22(金)	A	070-5541-2819
水墨・墨彩画 「墨游会 第36回展」	8/16(土)～8/22(金)	B	
石和絵の会 作品展	8/23(土)～8/29(金)	A	0553-47-3289
グループ8	8/23(土)～8/29(金)	B	
第9回 星光展	8/23(土)～8/28(金)	C	
図南会展	8/30(土)～9/ 3(金)	A・B	genen@nns.ne.jp

展覧会名	会期	会場	問い合わせ先
第28回 キヤノンフォトクラブ 山梨 写真展	8/30(土)～9/ 5(金)	C	
第59回 創元会 山梨支部展	9/ 6(土)～9/12(金)	A	
山梨フォトクラブ 第40回写真展	9/ 6(土)～9/12(金)	B	
第36回 全日本写真連盟 甲府支部 写真展	9/ 6(土)～9/12(金)	C	055-262-6001
第51回 柳桂書道展	9/13(土)～9/19(金)	A・B	
写真クラブ はい★チーズ 写真展	9/13(土)～9/19(金)	C	p-time@eagle.ocn.ne.jp
CWY企画展	9/20(土)～9/26(金)	A	
セーラーズバレンタイン 生徒作品展	9/20(土)～9/26(金)	B	0551-45-7558
一花とにじみの透明水彩― 甲斐明日香と水の彩り水彩画教室展	9/20(土)～9/23(金)	C	asuka.artwork@gmail.com
第9回 日本画院と 山梨の日本画展	9/27(土)～10/3(金)	A・B	
太平洋美術会 山梨支部 小品展	9/27(土)～10/3(金)	C	090-8107-1640

※公開時間や展覧会の内容については、各団体にお問い合わせください。

※県民ギャラリーABの使用申し込みは、7月2日(‘25年6月分)、8月1日(‘25年7月分)、9月1日(‘25年8月分)です。

午前10時までに美術館講堂にお集まりください。

※県民ギャラリーCの使用決定日は、8月1日(‘24年 1月～3月分)です。午前10時30分までに美術館講堂にお集まりください。

県民ギャラリーCの使用希望の際は、使用決定日の2週間前(7月19日)までに施設利用計画書の提出が必要です。詳細はお問い合わせください。

展覧会カレンダー Exhibition Calendar

7月 July

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 WS
7	8	9	10	11	12	13 WS
14	15	16	17	18	19	20 WS
21	22	23	24	25	26	27
28 WS	29	30	31			

8月 August

日	月	火	水	木	金	土
				1 WS	2	3 WS
4	5	6	7	8 WS	9	10 WS
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24 WS
25	26	27	28	29	30	31

9月 September

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 WS	6	7 WS
8	9	10	11	12	13	14 WS
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28 WS
29	30					

※内容は変更になる場合がございます。ご来館前に当館ホームページを必ずご確認ください。

利用のご案内

■ 開館時間

午前9:00～午後5:00（入館は午後4:30まで）

■ 休館日

7月 1・8・16・22・29日

8月 5・19・26日

9月 2・9・17・24・30日

■ 観覧料

※特別展は観覧料等変更になる場合があります。

		一般	大学生
パスポート（コレクション＋特別）		1,260円	590円
コレクション展	個人	520円	220円
	団体	*420円	*170円
特別展	個人	1,000円	500円
	前売・団体	*840円	*420円
美術館コレクション展 文学館常設展		680円	340円

※20名以上の団体、前売券、県内宿泊者割引に適用。

■ その他割引について

		コレクション展	特別展
高校生以下の児童・生徒		無 料	
65歳以上 （健康保険証等持参）	県内	無 料	
	県外	無 料	通常料金
障害者手帳所持者とその介護者		無 料	

■ 年間パスポート（定期観覧券）

発行日から1年間、山梨県立美術館のコレクション展・特別展を何回でも観覧できる便利でお得なパスポートです。

一般:3,140円 大学生:1,570円

■ 4館共通定期観覧券

発行日から1年間、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館の常設展（コレクション展）・企画展（特別展）を何回でも観覧できる、お得な観覧券（ミュージアム甲斐 in 券）です。

一般:5,240円 大学生:2,620円

サービス

【ロッカールーム】

美術館の観覧者は、無料ロッカーをご利用できます。（使用した100円は使用後に戻ります）

【駐車場】

乗用車345台、バス16台、身障者専用6台の無料駐車場がご利用できます。

【ボランティア・デスク】

ボランティアによる館内のご案内、道路案内、クロックサービスなどを行っています。

【車椅子、ベビーカー、ベビーチェア、トイレ】

車椅子4台、ベビーカー2台を用意しています。ご利用になりたい方は、館職員までお申し出ください。オストメイト用トイレ1ヶ所、各トイレにはベビーチェアを設置しています。

【ミュージアム・ショップ】

1Fミュージアム・ショップではカタログ、書籍、ポストカード、複製画などを販売しています。クレジットカードもご利用できます。年間パスポートと4館共通定期観覧券をお持ちの方は、1割引でご利用できます。

【ユニバーサルカフェ＆レストラン コレレ】

山梨の魅力を五感で感じられるメニューをご用意しています。おひとり様でもご家族でもお気軽にご来店ください。
営業時間 10:00～17:00（16:30ラストオーダー） テイクアウト可
レストラン直通 Tel:055-236-9370

交通のご案内

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

●料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進、真川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。

JR中央本線甲府駅より

●JR甲府駅バスターミナル（南口）1番乗り場より、39系統 御勅使（みだし）、03・04系統 竜王駅経由数島営業所、35系統 大草経由韮崎駅、30系統 真川（くがわ）団地各行ききのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。

※山梨県立美術館ホームページからも、バスの時刻表をご覧ください。

●タクシーで約15分。



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 甲府市真川1-4-27 Tel:055-228-3322 Fax:055-228-3324
https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/



ホームページ

